

会報

平成17年9月16日

てんりゅう



佐久間町浦川祭り

8月6日～7日屋台の引廻し風景

会報てんりゅう 第83号

(社)天竜建設業協会 浜松市二俣町鹿島491-5 ☎(0539)26-1562
編集・発行 広報委員会 題字 秋山鋭介 FAX(0539)25-6468
電子メールアドレス tenryu@aqua.ocn.ne.jp
ホームページ <http://www.tenkenkyo.net/>

天竜建設業協会主催

夏休み親子現場見学会



8月9日天竜建設業協会主催・静岡県天竜土木事務所共催で親子現場見学会を開催しました。
多くの地域の方々に、公共工事の果たす役割と地域との関わりを学んでもらうと共に、土木行政への関心を高めていただき、そして土木建設の可能性や魅力等

を肌で感じ取っていただけたらと思い企画しました。
今回は、旧天竜市内の小学校に在籍する5年生及びその保護者を対象に公募したところ、10組21名の参加をいただき、次の施設や現場を見学しました。

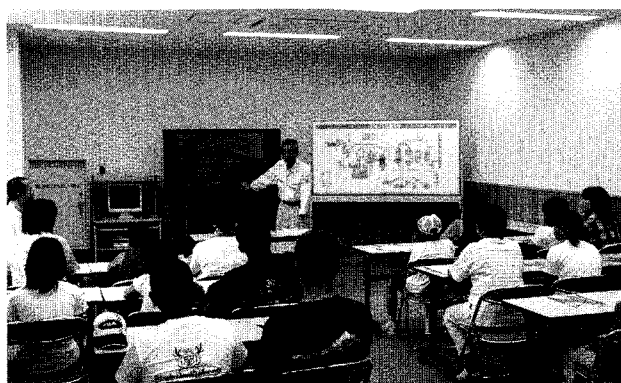
天竜ゴミ処理工場

ビデオテープによって、処理工場の概要や、「持ち込み可能なゴミ」が、最新鋭の工程によりコンピュータで操作され、副産物が入ったスラグという粒子になっていく過程の紹介がありました。

また、家庭から出されるゴミは、ゴミ分別区分表によって仕分けすることが大切で、それによって処理工場へ持ち込み可能なものと出来ないもの、さらに各地区の集積所へも出せないゴミに区分される品目の説明がありました。説明を聞く中で、メモをとる親子も見られました。

使い捨ての風潮が高ま

る中、私達は、「ゴミを減らす」「まだ使える物は人に譲るなり修理を考える」「資源化して再利用」を実践していくことが最も大切なことだと痛感いたしました。





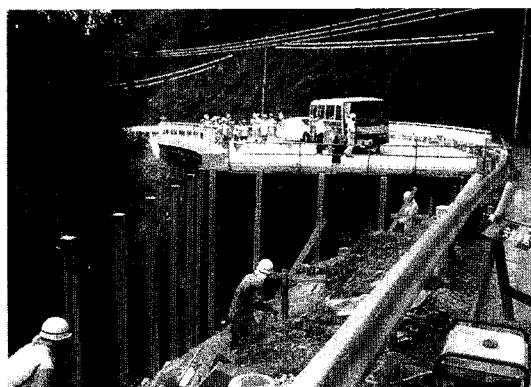
はるの 炭ブロック工場

間伐は、こみすぎた森林を適正な密度にして、健全な状態に保つために欠かすことの出来ない間引き作業ですが、高齢化の進展に伴い林業の担い手不足と間伐材の再利用の道がなかなか開けず、森林の適正な管理が難しい状態が続いています。

こうした中、春野建設事業協同組合は、間伐材を木炭に加工して木の持つ組織構造を巧みに活用した、ブロックや残存型枠を製造している工場です。

普通のコンクリートブロックと違い、白色のケバケバしさがなく粉炭の混合によって自然と調和した色合いとなっています。また、微生物が繁殖し易い構造のため水の浄化に役立つ、と同時に植物の種子が付着することで緑化も促進されるとのことです。

同事業協同組合は、『はるの炭れ스토랑』も運営しており、参加者は、ログハウスで「炭れピザ」をご馳走になりながら、楽しい昼食をとりました。



一般県道春野下泉停車場線 道路改良工事及び 国道152号道路改良工事

一般県道春野下泉停車場線は、浜松市春野町と榛原郡中川根町にある大井川鉄道の下泉駅とを結ぶ延長25キロメートルの道路、そして国道152号線は、長野県上田市と浜松市を結ぶ延長25.6キロメートルの幹線道路です。

路でした。

当箇所は、山の斜面が急なため、軽量の発泡スチロール・発泡ウレタン材料を使用して法面を強化、鉄の柱を組んだ橋等で道路を広げて

いく工事の説明が、土木事務所現場担当者よりありました。普段はバリケードによって立入禁止のため、初めて間近で見る現場の様子に、子供達は身をのりだして興味深く覗いていました。



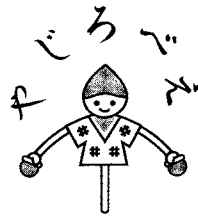
見学会の行程

北遠総合庁舎 ⇨ 天竜ゴミ処理工場 ⇨ はるの炭ブロック工場 ⇨
9:30発 10:00~11:00 11:20~12:40
春野下泉停車場線道路改良工事 ⇨ 国道152号線道路改良工事 ⇨ 北遠総合庁舎
13:10~13:30 14:20~14:50 15:30着



天竜総合事務所 森林課
伊藤 浩晃

かんとくさん



N・P・O活動への期待

七月一日新浜松市誕生から、早くも二ヶ月が経過した。合併後の市民生活への影響、行政への関わりがどう変わるのか等、不透明で少なからず不安を抱いていた諸問題がここに至って日常生活の中、徐々に馴染みつつあるように感じられる。が、これまでの合併に至る経緯を踏まえての期待と不安が、いまだに交差している一面も見受けられるのである。中でも町民が身近な問題として提起された、行政サービスの影響と動向であった。

日常生活と密接な、福祉・保険・文化・地域対応・イベント等これまでの行政主催の事業活動が、合併を機に低下

するのではないだろうか懸念されていた。こうした町民不安を解消すると共に積極的に対応し、新たな町づくりを目指し、町民総参加によるN・P・O(特定非営利活動法人)を設立し、自らの地域活動は自らの手でを基本理念とし、具体的活動方針を研究、検討、策定し、真に活動を開始しようとする町がある。

合併前、各地区において活動してきた各種団体・グループ及び個人が自発的に行ってきたボランティア活動を、組織的(法人化)、継続的に活動する非営利団体を設立し、町民総参加で地域活動を行おうとするものである。

「自治」の基本は、自分のことは自分で、地域のことはその地域で治めていくとの心構えを抱きつつ、町民総意の地域活動に期待し今後の動向に注目していきたい。(S・M)

とするものである。

既に法人認定も済み、町民に対する説明会を終えて、理解と協力を要請すると共に、NPO会員への参加呼びかけを行っている。

活動の具体的方針については、七部門の委員会(総務・保険・福祉・地域おこし・文化、スポーツ、社会教育・環境づくり・女性活動・世代交流)において検討されており、まもなく集約されるものと思われる。

「自治」の基本は、自分のことは自分で、地域のことはその地域で治めていくとの心構えを抱きつつ、町民総意の地域活動に期待し今後の動向に注目していきたい。(S・M)

私は市職員として採用され四年が経ちました。前課の土木課では二年間で、やっと土木行政という仕事にも慣れてきたところでの異動でしたので不安もありましたが、周囲の支えもありようやく仕事にも余裕が持てるようになってきました。

そして今携わっている林道開設事業では、測量業者や地権者とは何回も山を歩き苦労したものが道と

した形で残る。又、造った物が多いのの人に喜んでもらえ、とてもやりがいのある仕事ではないかと思っています。

今年には市町村合併という大きな変化もあり多少の戸惑いはありますが、森林の大切さを十分に理解し施工業者と地元住民との連絡を密にし、安全でより良い道造りをしていきたいと思っています。

最近のキーワード

入札参加者が、施工方式等技術提案と価格提案を一括して行い、工期や安全性など価格以外の要素と価格を総合的に評価して落札者を決定する方式。

総合評価落札方式

従来の標準的な技術や工法を前提とした価格のみによる落札方式とは異なり、企業の持つ技術力(新しい技術・ノウハウ)という価格以外の要素を含め、総合的に評価して落札者を決定する方式。静岡県内で採用している自治体は、まだ県だけ。

民間企業の技術やノウハウを活用することにより、品質の向上やコスト削減、自然環境・住環境の保護など社会のニーズに対応した工事を目指すもので、技術提案の内容を価格とともに評価するのがこの落札方式の特徴。発注者は、工事内容や周辺の状況に応じて、様々な評価項目を設定し、民間企業からの優れた技術提案を募ることが出来る。

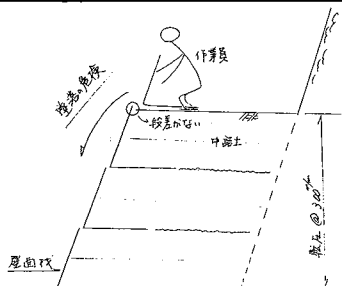
工事現場で起きた あなたのヒヤリ・ハット体験

事例と事故予防策

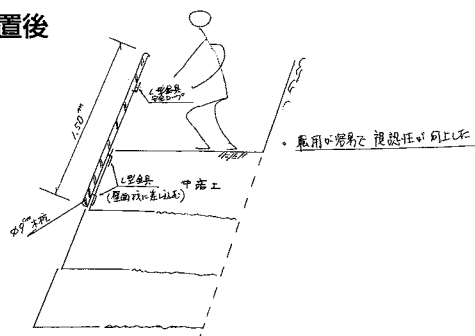
補強土壁工事

状況図

危険体験 の状況



対策・措置後 の状況



事例

実際に事故になりそうになった訳ではないけれど、補強土壁工の施工高さが増して行くにつれ、墜落事故の危険度が増大してきたことを痛感させられた。というのも、工程の性質上、壁面際での作業が多く、中詰め材を施したあとは、特に段差も少なくなり、作業帯区画の視認性も附近の景色との同化により、思いのほか悪くなってきた。

対策

補強土壁内には杭を打つ事もできないので、壁面外部から何か施せないかと安全訓練の中で協議し、壁面材に脱着可能な支柱を取り付け、三角旗をつけた安全ロープを設置し、視認性に置いて明確に区画できる様対策を講じた。

姫様“珍”道中

～ぶらり遠州ふたりナビ～

K's Dining

秋の夜長の候となりました。ふと夜空を見上げると、お月様が一年のうちで最も輝いて見える・月の秋。心の栄養・読書の秋。そしてやっぱり食欲の秋！ということで笠井街道沿い、青柳・さわき歯科となりの『K's Dining』さんへおじゃましました。店内に入ると、アジアな雰囲気やゆったりとした空気が流れ、のんびり寛げます。ステキなご主人・綺麗な奥さん、そして地元のお客様（ご主人の同級生）が笑顔で迎えてくれました。カウンター・お座敷ともにほぼ満席。

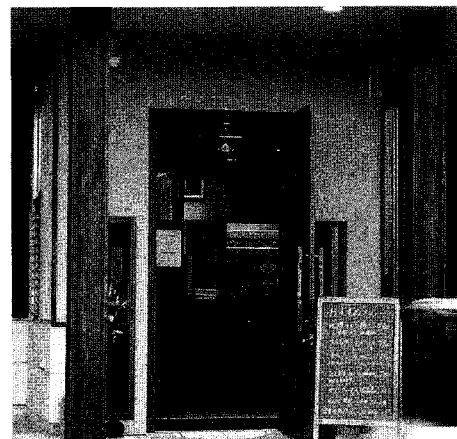
ご主人（鈴木潔さん）は葛城北の丸にて和洋折衷・寸座ピラにてフランス料理・エッセにてイタリア料理を学んでおり、その経験を生かし昨年11月に浜松市中瀬（旧浜北市）に『K's Dining』をOPEN。“無国籍料理”というところが魅力的で豊富なメニューに思わず笑みがこぼれてしまいます。なかでもオススメは、“ラフティー豚バラ肉黒砂糖煮込み”（沖縄料理）口に入れた瞬間、お肉がとろけちゃうやわらかさが絶妙でかなり美味しい～。お酒が進む一品です。日々の疲れもどこへやら～。お酒の種類も豊富で、ビール・日本酒・焼酎・泡盛・ワイン等 勢揃いしています。

※ なかなか手に入らない銘酒も置いているそうです。地元のお客様よりこっそり教えて頂きました。♪

そして、ご主人のこだわりは『既製品は一切使わず、全て手作り！』とのこと。一品一品、心のこもった美味しい料理を味わえます。料金も良心的ですので、是非一度足を運んでみて下さい。

秋の夜長のひと時を『K's Dining』で過ごしてみたいかがでしょうか♪

定休日 月曜日・第3火曜日 ※火曜日はランチお休み
営業時間 11:30～13:30 (L.O) ランチ1,000円・1,500円
17:30～23:00 (L.O)
電話 053-588-2626



My Family

走る

乗松建設(株)
市川勇一郎



私が当社に入社したのは昭和47年で、早33年になりました。月日の経つのは早いものであります。自分は小学生のころから走るのが好きで、あまり速くはないのですが、運動会はすごく楽しみでした。社会人になってからも走っており、いろいろなロードレースや陸上大会などに参加しており、そんな走る仲間と陸上クラブを作り駅伝に参加したりしております。

こうしたおり中学校に陸上の先生がいないので、指導してほしいとの事で、豊岡体育協会の陸上部で平成5年から小学生と中学生を対象に陸上教室を指導する事になりました。指導はなかなか難しく最初は上手く行かなく、いろいろな指導書で勉強したり、高校の先生から教えて頂いて、2年目位から自信を持って指導できるようになりました。選手の数も増えて、中学校の陸

上部の他、野球部、バレー部と多士済々で、目標も全国大会を目指す選手から運動不足解消で来る選手、又種目も短距離・長距離・走り高跳び・走り幅跳び・砲丸投げと多く、1時間30分がいつも大忙しの状態でした。充実した毎日でした。選手が日に日に成長していく様子が分かりいつの間にか全国標準を破る選手が2、3年に一人くらい出て、指導者として非常に嬉しかったのと、選手に教えられる事が多く勉強になりました。

今年の市町村合併から中学生の陸上教室はなくなりましたが、この12年間で100人近くの子が当教室を卒業して、その子供達が成人し、いろんな所で活躍しているのが誇らしく思います。

これからは、自分の体が続く限り、少しずつ走り続けて行きたいと思っています。

浦川中学校

今泉 友紀恵さん



私が浦川中学校に勤務して、3年目になりました。2年前の4月は、初めての仕事、初めての寮生活に不安ばかりの毎日でしたが、そんな不安もすぐに解消され、今では毎日楽しみながら仕事をしています。これも、職場のみなさん、保護者・地域のみなさん、生徒のみなさんのおかげです。私がこの仕事を選んだ動機は、子供が好きだからと



というのが一番大きな理由です。浦中の生徒たちは、事務の私にも親しく話しかけてくれ、毎日元気とやる気をもらっています。そんな大好きな生徒たちがいる学校に勤めることができ、私にとっては天職だと思っています。

これからも、この気持ち忘れず、一生懸命がんばりたいと思います。

建設ギャラリー

平成16年一級河川杉川河川災害復旧工事

1. 施工箇所 周智郡春野町豊岡字篠原地内
2. 工期 平成16年12月21日～平成17年3月15日
3. 発注者 静岡県天竜土木事務所
4. 受注者 小林建設(株)
5. 工事概要 施工延長40メートル
環境保全型ブロック張工284平方メートル
環境保全型ブロック積工40平方メートル
小口止工2箇所
巻止工33メートル



災害復旧工事の主目的は、既設の「じゃ籠」に替えて、「大型のブロック張工」の施工です。上流のブロック積と接続するために本体部の勾配は1割5分とし、上流6.35メートルで1割に、そして残りカーブの8メートルを5分でブロック積を施工しました。

親水性ブロックの活用で、現地の河川形状にもマッチした環境型の護岸が出来たと思います。

お礼
前回82号の表紙写真「瀬尻の段々畑」は龍山村フォトコンクールの入賞作品で浜松市横須賀六七五―三に在住の鈴木利安さんの作品でした。活用させていただきました。